

学校評価(平成25年度) I

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【ア;情報を伝える。説明する。考えや思いを聞く。】 ◎教育の方針や活動状況を児童・保護者・地域の人々に適切に伝える。 ◎児童・保護者・地域の人々の願いや思いを、学校がしっかりと受け止める。</p>
<p>② 本年度の 取り組み状 況</p>	<p>○たより・通信(学校,すくすく,学年,学級,保健,献立,図書館等)を発行する。 ○学校HPに日頃の児童の様子,行事予定,手続き等を掲載する。 ○学校教育説明会,宿泊行事説明会,入学説明会等を実施する。 ○通知表『あゆみ』の中身を改革する。家庭訪問・個人懇談等の機会あるごとに学習内容・評価を保護者に伝える。 ○運動会,学習発表会など,保護者,地域の方々に参観いただける機会に,教育方針とその成果をアピールする。</p>
<p>③学校教育 自己診 断・授業評 価等定量 的評価及 び定性的 自己評価 内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は以下の4項目である。 ◇項目文末の()内は本年度と昨年度のA「とてもそう思う」B「だいたいそう思う」の合計である。 ◇保護者集計は()に,児童集計は<>に,教職員集計は<>>に入れた。いずれも(本年度,昨年度)の順とした。</p> <p>(1)学校は教育方針や指導の様子を分かりやすく伝えている。 (89%, 77%) < --%, --% > << 82%, 67% >></p> <p>(3)学校は,保護者や地域の人たちの願いを受け止めて取り組んでいる。 (85%, 71%) < 86%, 90% > << 65%, 79% >></p> <p>(11)通知表の評価や記録は適切で分かりやすい。 (84%, 80%) < 89%, 88% > << 77%, 73% >></p> <p>(12)学校には,悩みや心身の健康等を相談しやすい先生がいる。 (63%, 53%) < 77%, 80% > << 88%, 47% >></p> <p>いずれの項目も,保護者からは昨年度より本年度の方が良い評価をいただいた。情報発信の成果が保護者に伝わっていると考えられる。</p> <p>(11)の通知表に関しては,内容を検討し,大きく変更を行ったことが,保護者・児童に評価され,教職員の自己評価も高くなったものと考えられる。</p> <p>(12)の「相談しやすい先生がいる」という項目では,昨年度より向上したとは言え,まだまだ到達度は低い。今年度力を入れた「保護者との連絡を密にする」という取組の成果を評価しつつ,更に取組の強化を進める。一方,保護者・児童にとって「相談しやすい学校」となるよう新たに具体的な方法も模索し,実行する。</p>
<p>④学校関係者評価 (学校協議会等からの提言)</p>	<p>・通知表は保護者に対して子どもの学習指導の状況を連絡し,家庭の理解や協力を求める目的で作成するものであり,学校がその様式をより分かりやすいように工夫することは学校,保護者ともに有用なことだと考える。</p> <p>・相談体制の充実は学校教育活動において重要なことである。小学校の場合に考えられる相談窓口として保健室があるが,養護教諭を中心としての子どもに関する情報共有も大切なことだと考えられる。</p>

学校評価(平成25年度)Ⅱ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【イ;仲間をつなぐ。集団を育てる。地域連携を深める。】 ◎思いを仲間と共有する,お互いのよさを認め合う,集団・社会のルールを大切にす る児童を育てる。人権教育をすべての教育活動の基盤において取り組む。 ◎地域の方との交流を大切に,豊かな文化の育成を目指す。 ◎義務教育9年間の子どもの育ちを見守り,支援する。</p>
<p>② 本年度の 取り組み状 況</p>	<p>○教職員間の連絡・報告・相談を密にして,日常の子どもの様子を注視し,教職員 間で共通認識を持って学級集団づくり,生活規律の創造に努める。 ○学年・学級内での子どもの様子を「通信」を通じて保護者に連絡し,子どもたちの 状態を保護者とも共有できるようにする。 ○たて割りグループでの活動を活性化させる。 ○児童会による挨拶運動を実施する。 ○保・幼,地域施設の方と交流,地域ボランティアの方と学習・体験活動を行なう。 ○登校班への指導,見守りデー・地区児童会等による下校指導を実施する。 ○日常的に安全確保のための登校指導を実施する。 ○中学校の教員による授業を行う。 4・5・6年＝理科,5・6年＝体育(保健体育),6年＝図工(技術) ○小学校の教員による中学校での授業;中1年＝道徳 ○小・中教職員交流会を懇親のためのものと具体的なテーマ設定での議論の場と 両方を設定する。</p>
<p>③学校教 育自己診 断・授業評 価等定量 的評価及 び定性的 自己評価 内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は以下の4項目である。 ◇項目文末の()内は本年度と昨年度のA「とてもそう思う」B「だいたいそう思う」の 合計である。 ◇保護者集計は()に,児童集計は<>に,教職員集計は<<>>に入れた。 いずれも(本年度,昨年度)の順とした。</p> <p>(2)子どもは学校を楽しく感じている。 (9 3 % , 91%) < 8 2 % , 89% > << 7 1 % , 47% >></p> <p>(4)児童会の朝の挨拶運動などは子どもたちの意識を高めている。 (8 1 % , 80%) < 7 9 % , 80% > << 5 3 % , 73% >></p> <p>(5)中学校の先生が4～6年生に理科,5,6年生に体育,6年生に技術を教えている 小中連携は効果がある。(9 1 % , 91%) < 8 5 % , 90% > << 8 8 % , 40% >></p> <p>(6)学校は,地域のボランティアの方たちと協力して教育活動を進めている。 (9 3 % , 86%) < 9 1 % , 90% > << 100% , 67% >></p> <p>(13)学校はいじめや子どもが困っていることについてしっかり取り組んでいる。 (7 1 % , 62%) < 8 2 % , 82% > << 8 8 % , 73% >></p> <p>(14)学校は学習や生活のきまりをしっかり指導している。 (8 0 % , 73%) < 8 8 % , 84% > << 7 1 % , 60% >></p> <p>(2)の項目から,18%の児童が「楽しい」とは感じていないことを重く受け止めるべき である。</p>

	<p>(5)中学校との授業交換のみならず、小中連携が今年度は大きく進んだと考える。</p> <p>(6)地域のボランティアの方々との協力体制は、現行の取組については十分達成されているものと考えられる。今後は新たな取組についても考えていきたい。</p> <p>(13)の保護者評価は昨年度より改善はあるものの到達度は低い。今年度充分取り組んできたと感じていたが、まだまだもっとやってほしいという今年度取り組んだことへの応援ととらえ、次年度につなげたい。</p> <p>(14)教職員の報告・連絡・相談体制を密にし、子どもの様子を共有することから分厚い指導を重ねてきたことは、いじめ等への指導だけではなく、日常の生活規律の創造へとつながってきたものと評価できる。その結果として(2)での児童の評価が下がったのだとすると皮肉なものであるが…。次年度は生活規律の創造から授業規律の創造へとつなげていきたい。</p>
<p>④学校関係者評価 (学校協議会等からの提言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携の取組は、小学校から中学校への進学において、新しい環境での学習や生活へ移行する段階で、不登校等の生徒指導上の諸問題につながっていく事態等を防ぐとともに、小学校から中学校への接続を円滑化するために非常に重要であるが、ややもすると中学校側からの一方通行になるケースが多い。そのようなことから授業交換を始めとする小中連携に小学校の方から積極的に取り組んでいることは評価できる。 ・本校の宝物である挨拶運動を、地域との連携の中で、ますます充実させることが望まれる。

学校評価(平成25年度)Ⅲ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【ウ;学習を組織する。意欲を育てる。】 ◎学力の向上をめざし,学習における基礎・基本の定着を図る。 ◎教育課程の実施状況に関する自己評価に関わる研究を進める。</p>
<p>② 本年度の 取り組み状 況</p>	<p>○加配教員・専科教員等を活用したTT・分割授業を実施する。 ○校内での漢字検定の実施。 ○中学校教員による小学校高学年への授業を行う。 ○授業参観・研究授業にて保護者・児童・教職員の授業評価を実施する。 ○朝の全校一斉活動(8:35~8:50)朝読書,朝レク等の取組を進める。 ○1学期保護者懇談の日に補充学習を実施する。 ○「全国学力・学習状況調査」「学校教育自己診断」「授業アンケート」等を実施・活用する。 ○校内にて国語・算数学力実態調査を実施・活用する。 ○1年間を通して研究者(大学から)を招いて『聴く,話す』をテーマとしてコンサルテーションを受ける。</p>
<p>③学校教 育自己診 断・授業評 価等定量 的評価及 び定性的 自己評価 内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は以下の4項目である。 ◇項目文末の()内は本年度と昨年度のA「とてもそう思う」B「だいたいそう思う」の合計である。 ◇保護者集計は()に,児童集計は<>に,教職員集計は<<>>に入れた。 いずれも(本年度,昨年度)の順とした。</p> <p>(8)学校の算数の少人数指導(分割やTT等)は,学力向上に役立っている。 (8 8 % , 86%) < 8 8 % , 85% > << 7 7 % , 100% >></p> <p>(9)学校の国語の少人数指導(分割やTT等)は,学力向上に役立っている。 (8 8 % , 86%) < 8 5 % , 88% > << 3 5 % , 73% >></p> <p>保護者の算数・国語についての,TTや分割授業への期待は大きい。実施する学年,形態の見直しも含め指導方法の工夫改善にさらに取り組む。 校内では,今年度は「聴く,話す」,一昨年度・昨年度は「書くこと」を研究テーマとして国語に関する研究活動を3年間系統的に行ってきた。来年度は原点に戻ってテーマを検討し,研究活動を行うことが必要であると考え。</p>
<p>④学校関 係者評価 (学校協議 会等からの 提言)</p>	<p>・子どもの国語力の低下については社会的な問題になっている。特にコミュニケーション力の不足は著しい。そのようなことから学校教育において,人間関係形成の能力としての「話す」「聞く」「話し合う」の力を確実に育成することが求められている。 ・学力の根幹ともいえる国語力の向上のためにも,国語科の指導方法のさらなる工夫が求められる。</p>

学校評価(平成25年度)Ⅳ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【エ;心身の健康を増進させる。】 ◎心身の健康・食・安全について考え,スポーツを楽しむ児童を育成する。 ◎命や体を大切に,生活の向上を目指す児童を育てる。</p>
<p>② 本年度の 取り組み状 況</p>	<p>○毎週金曜日に「朝レク」を実施する。 ○朝食アンケート(1学期),交流給食(年間3回)を実施する。 ○避難訓練(不審者5/21,火災11/26,地震1/17)を実施する。 ○防災アドバイザーを招聘し,安全・安心な学校づくりのためのコンサルテーションを受ける。 ○防災マニュアルの見直しを行う。 ○体力向上のための学校行事を開催する。 ○登下校メールサービス「ミマモルメ」の設置。</p>
<p>③学校教 育自己診 断・授業評 価等定量 的評価及 び定性的 自己評価 内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は以下の4項目である。 ◇項目文末の()内は本年度と昨年度のA「とてもそう思う」B「だいたいそう思う」の合計である。 ◇保護者集計は()に,児童集計は<>に,教職員集計は<>>に入れた。 いずれも(本年度,昨年度)の順とした。</p> <p>(7) 学校は,子どもたちの安全確保や家庭への緊急連絡等に適切に対応している。 (8 6 %, 73%) < 8 4 %, 73% > << 8 8 %, 71% >></p> <p>(10) 学校は子どもたちの体力を高めるためにしっかり取り組んでいる。 (8 2 %, 81%) < 7 8 %, 85% > << 6 5 %, 53% >></p> <p>今年度,「ミマモルメ」を設置したこと,防災アドバイザーを迎えコンサルテーションを受けながら緊急時及び防災マニュアルの見直しを行い,保護者へもその都度連絡をしてきたことが,保護者,児童,教職員共に(7)の項目での評価につながっているものと考えられる。</p> <p>今年度初めて校外を走るマラソン大会を実施したり,それを目標にしたジョギングタイムを設定したり,体育の校内授業研修会を開催したことが,教職員の評価が高まったことにつながっていると考えられる。</p> <p>「安全・安心の学校づくり」と「体力の向上」はこれからの世の中を生き抜く力を養うための必須である。今後も更に取組を進めていきたい。</p>
<p>④学校関 係者評価 (学校協議 会等からの 提言)</p>	<p>・偏った栄養摂取,朝ごはんを食べないなど食生活の乱れや,肥満・痩身傾向など,子どもたちの健康を取り巻く問題が深刻化している。学校の設定目標の「心身の健康を増進させる」ための中心となる食育について,学校が積極的に取り組んでいることについて評価できる。 ・マラソン大会やジョギングタイム等,日頃の体力作りに取り組んでいることは評価できる。</p>